

第75回アメリカ会計学会に出席して

American Accounting Association 75th Annual Meeting

白 木 俊 彦*

Toshihiko SHIRAKI

I. はじめに

1991年アメリカ会計学会（AAA年次大会）が8月11日から14日までナッシュビル（テネシー州）のオプリーランドホテルにおいて開催され、竹森一正教授とともに参加した。今大会は75周年を記念した大会でもあり、会員およそ2,345名の参加があった。このうち、日本国内に本務校を有する参加者（現在留学中の先生も含めて）は、

青木 茂男（東京国際大学）
 檜田 信男（中央大学）
 平松 一夫（関西学院大学）
 飯野 利夫（駿河台大学）
 稲垣富士男（青山学院大学）

榊原 英夫（富山大学短期大学部）
 高松 正昭（立正大学）
 竹森 一正（中部大学）
 富塚 嘉一（中央大学）
 山口 達良（日本大学）
 矢沢 秀雄（専修大学）
 上領 英之（広島修道大学）
 畑山 紀（札幌学院大学）
 中島 省吾（フェリス学院大学）
 田中 隆雄（東京経済大学）

以上（敬称は略）に私を含め16名であった。

大会は Alvin A. Arens 会長のもとに、“Celebration, Evaluation and Rededication”をテーマに下記のスケジュールで開催された。

このようなスケジュールの中で、私自身の関

スケジュール表

Highlights of the Annual Meeting				
	<i>Sunday</i>	<i>Monday</i>	<i>Tuesday</i>	<i>Wednesday</i>
Morning	Continuing Professional Education	Opening ceremony Plenary session with Rudolph Dornbusch	Plenary session with Charles Nesson, leading educators and businessmen	Concurrent Sessions
Lunch		Section business meetings and concurrent sessions	Plenary session with three leading speakers on accounting education	Concurrent sessions
Afternoon	Registration 2:00-7:00 and open exhibits	Section business luncheons	Outstanding Accounting Educator Awards and AICPA Chairman of the Board Tom Rinerman	Awards and Ernest Boyer, President of Carnegie Foundation of Teaching
		Concurrent sessions	Concurrent sessions	AAA Annual business meeting
		Concurrent sessions	Concurrent sessions	Concurrent sessions
	Early Bird Reception	Welcome Reception	Late Night All American Country Fair with Minnie Pearl	Reception, Banquet and singer Lee Greenwood

* 経営情報学科——会計

心領域である国際会計領域のセクション (AAA におけるインターナショナル会計セクションは 1976 年 8 月 23 日にアトランタでの AAA の年度会議において設立された。) 参加して今後の国際会計教育に役立つ事柄についてまとめてみたい。

大会初日の専門教育プログラムでは、我が国でも有名な FREDERICK D. S. CHOI 教授 (ニューヨーク大学) による国際会計セミナーに参加した。国際会計という名のとおり、この部会の会員の 3 分の 1 はアメリカ以外の国のメンバーであり、出席者は少ないもののドイツ、ニュージーランド、オーストラリアなど各国からの参加が多いことが特徴と言えよう。午前の部では主に、国際会計の教科書の紹介を兼ねながら国際会計の研究領域に関して解説された。そこでは、AAA 会計カリキュラムの国際部門が提供している学部生レベルの学習トピックス及び教材が紹介され、また、大学院における講義内容についても参考資料が配付され、米国における国際会計教育の実態が理解され、今後の我が校あるいは我が国における国際会計教育の指針になった。

午後からは、午前の紹介に関連して国際会計の諸問題について意見交換された。各国においても我が国同様に、国際会計という新しい研究・教育の諸問題に苦勞しているようであった。

2. インターナショナルセクションの報告の内、私の研究課題に関連した報告として、Stephen B. Salter 及び Timothy S. Doupnik の "AN EMPIRICAL TEST OF A JUDGEMENTAL INTERNATIONAL CLASSIFICATION OF FINANCIAL REPORTING PRACTICES" があげられる。

II. 国際会計セミナーの内容

このセミナーの目的は

1. 会計担当教員に会計の国際領域に関して刺激を与えること
2. 調査研究の諸問題及び機会に関して、学問

的に識別し、また討議すること

3. 国際会計コースを設置し、また教育する指導者を援助すること

4. アメリカビジネススクール会議 (American Assembly of Collegiate Schools of Business, AACSB) の公式要請を発展させた会計カリキュラム及び会議を国際化するためのアプローチを研究することであった。

また、具体的な内容としては、国際会計のパターン、会計の多様性の資本市場効果、会計の調和化、国際的報告の諸問題、外貨換算、海外のインフレーション、国際会計教育等である。

ここでは我が国における国際会計教育でも問題となるテキストならびに講義内容に関する資料を整理して紹介しておきたい。内容の検討については、現在国内における国際会計教育に関する文献を入手後、比較してみたい。まず、テキストとして次の著書が紹介されている。

1. Christopher Nobes and Robert Parker, "Comparative International Accounting Third Edition," Prentice-Hall.
2. Gerhard G. Mueller, Helen Gernon, and Gary Meek, "Accounting : An International Perspective Second Edition - A Supplement to Introductory Accounting Textbooks," Irwin.
3. Jeffrey S. Arpan and Dhia D. AlHasim, "International Dimensions of Accounting," Kent Publishing Company.
4. Ahmed Belkaoui, "International Accounting : Issues and Solutions," Quorum Books.
5. H. Peter Holzer, et al, "International Accounting," Harper & Row.
6. Samuel Fox and Norlin G. Rueschhoff, "Principles of International Accounting," Austin Press.
7. Thomas G. Evans, Martin E. Taylor, and Oscar Holzmann, "International Accounting and Reporting," Macmillan.
8. Jeffrey S. Arpan and Lee H. Radebaugh, "International Accounting and Multinational

Enterprises Third Edition," John Wiley & Sons.

9. Frederic D. S. Choi and Gerhard G. Mueller, "International Accounting Second Edition," Prentice-Hall.

10. Frederic D. S. Choi and Gerhard G. Mueller, "Frontiers of International Accounting : An Anthology," UMI Research Press.

11. James A. Schweikart, "Cases in International Accounting," A Publication of the International Section of the American Accounting Association.

12. Frederick D. S. Choi, "Multinational Accounting : A Research Framework for the Eighties," UMI Research Press.

13. Frederick D. S. Choi and Richard M. Levich, "The Capital Market Effects of International Accounting Diversity," Salomon Brothers Center for the Study of Financial Institutions.

14. Frederick D. S. Choi, "Handbook of International Accounting," John Wiley & Sons Inc.

15. "The Spicer & Oppenheim Guide to Financial Statements Around the World," John Wiley & Sons, Inc.

16. Coopers & Lybrand (International), "1991 International Accounting Summaries : A Guide for Interpretation and Comparison," John Wiley & Sons, Inc.

17. Frederick D. S. Choi and Kazuo Hiramatsu, "Accounting and Financial Reporting in Japan : Current Issues and Future Prospects in a World Economy," Van Nostrand Reinhold (UK) Co. Ltd.

18. Abdel M. Agami and Felix P. Kollaritsch, "Annotated International Accounting Bibliography 1972-1981," International Accounting Section American Accounting Association.

これらのテキストのうち多くは国内において知

られている。

次に、いくつかの大学及び大学院の講義内容について紹介しておこう。詳細については別稿で紹介したい。

1. Leonard N. Stern School of Business New York University

この大学では、チョイ教授及びミューラー教授の "International Accounting" (Prentice-Hall, 1984) をテキストとして、14回の講義内容は

- A. 会計の多様性と資本市場への影響
- B. 国際的な財務諸表分析における諸問題
- C. 国際会計の環境的対応
- D. 特別な技術的諸問題 (外貨換算)
- E. ケース分析: "Esso Ruritania"
- F. 特別な技術的諸問題 (価格変動会計)
- G. ケース分析: "Icelandic Enterprises"
- H. 国際課税の諸問題
- I. 比較会計実務 I
- J. 比較会計実務 II
- K. 比較会計実務 III
- L. 会計の多様性の取扱
- M. 学生の研究発表
- N. 最終試験

2. Columbia University Graduate School of Business

この大学では

Frederick D. S. Choi and Gerhard G. Mueller, "International Accounting," Prentice-Hall, 1984.

H. Peter Holzer, et al, "International Accounting," Harper & Row, 1984.

Christopher Nobes and Robert Parker, "Comparative International Accounting," Irwin, 1984.

をテキストとしている。講義内容は

- A. 序
- B. 外貨建取引の会計と外貨表示財務諸表の換算会計と国際的な財務諸表分析における諸問題
- C. 外貨換算会計: 換算方法の比較
- D. 外貨換算会計: 代替法の評価
- E. 外貨換算会計: 財政状態変動表

- F. インフレーション会計
- G. インフレーション会計と外貨換算会計
- H. 多国籍企業における業績評価一序と予算
- I. 業績評価—振替価格
- J. 業績評価—代替法の比較
- K. 業績評価—結論
- L. キャッシュ報告システム
- M. ゲストスピーカー
- N. セグメント報告と比較会計報告システムへの導入

- O. 実務の比較
- P. 発展途上国の会計システムと実務比較の結論
- Q. 国際会計基準の調和化と国際会計組織と監査
- R. 国際税務
- S. 国際税務
- T. 要約と展望

3. University of Lancaster

- A. グループの概念
- B. 振替価格
- C. 多国籍企業の財務機能
- D. 国際資本支出予算
- E. 為替リスク管理と外貨換算

最後に、アメリカ会計学会の会計カリキュラム国際分野が提案している学部レベルの内容は次のとおりである。

- A. 社会における会計の性格と役割
- B. 会計原則の環境
- C. 事業組織の形態
- D. 貸借対照表の概念
- E. 損益計算書の概念
- F. 棚卸資産
- G. 減価償却
- H. 無形固定資産（営業権）
- I. 連結財務諸表
- J. 会計政策の形式化
- K. 価格変動会計
- L. 財務諸表分析
- M. 財務状態変動表
- N. 税務と意思決定

- O. 証明機能
- P. 社会的責任
- Q. 資金計画
- R. 資本支出予算
- S. 短期的意思決定情報
- T. 経営情報システム
- U. 財務管理
- V. 業績評価
- W. 振替価格

中級会計学の内容

- A. 会計理論
- B. 会計政策の形式化
- C. 会計基準
- D. 貸借対照表概念
- E. 損益計算書概念
- F. 棚卸資産
- G. 無形固定資産（営業権）
- H. 価格変動会計
- I. 財務諸表分析
- J. セグメント報告

上級会計学

- A. 企業結合
- B. 連結財務諸表
- C. 外貨換算

監査

- A. 証明機能—概要（基準、手続、独立性、資格、報告形式）
- B. 監査報告基準
- C. 監査手続
- D. 在外子会社の監査人との関係
- E. 監査人の独立性
- F. 監査報告書
- G. 監査委員会
- H. 内部監査

A. 税務

税務—概要（税の種類、課税システム、条約、税制上の優遇措置、サブパートF、計画）

- B. 税金システム
- C. 海外所得の課税
- D. 税額控除

- E. 租税条約
 - F. 税の優遇措置
 - G. サブパート F 所得
 - H. 国外補償金
- 公会計
- A. 政府会計
 - B. 国際収支
 - C. 社会責任会計
- 管理会計
- A. 資金計画
 - B. 資本支出予算
 - C. 短期意思決定情報
 - D. 経営情報システム

- E. 財務管理
- F. 業績評価
- G. 振替価格

その他大学名が不明なもの及びテキストの内容について、あらためて別稿で紹介したいと思う。

以上、第75回アメリカ会計学会に出席して我が国における国際会計論にとって有用と考えられる参考資料を紹介してきたが、私自身にとって、外貨換算会計の研究領域から国際会計教育という大きな研究領域へと一歩拡大できたことは有意義であった。